



「放課後子供教室」の取組



松伏町教育委員会教育文化振興課の取組について

<実践の概要>

- 放課後子供教室の事業を、平成29年5月から、金杉小学校を対象として始めた。立ち上げの具体的な取組の説明があった。
- 放課後児童クラブとの一体型として運営している点が、大きな特徴の一つである。また、金杉小学校は、小規模特認校の特色の一つとして、この事業を取り上げている。
- 活動時間は、午後3時から4時30分であり、前半と後半の活動に分かれている。前半（午後3時40分まで）は、宿題を中心とした学習活動を行い、後半は、体育館・校庭での体験活動を行う。
- 後半の体験活動では、スポーツ推進委員3名による指導のもと、学校で学習しないスポーツ（ボッチャ、フライングディスクゴルフ、卓球バレーなど）を行っている。

<アンケートから>

- 放課後子供教室は、地域住民の持てる力を引出し、多くの大人に奉仕の喜びを与えてくれています。隣人同士のつながりが希薄になっている地域社会が活性化する効果があります。大きなヒントをいただきました。勤務校で、紹介したいと思う。
- ボランティア、学校、PTAとの共通理解・協働の大切さが理解できたので、これから、それぞれに働きかけていきたいと思いました。

【指導講評】 埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課

<国の動向から>

- 平成26年7月「放課後子ども総合プラン」の策定により、放課後子供教室と放課後児童クラブが連携して取組を推進させていくことになった。このような中、松伏町は、平成29年度から、放課後児童クラブとの一体型として、新たに放課後子供教室を開設・実施されている点が、これから推進していこうとしている市町の参考となる。

<取組について>

- 放課後子供教室を開始した経緯や活動の具体的な中身についての話は、参考になる点が多かったと思う。特に、多くの点において、学校の理解と協力を得られていることが挙げられる。活動を進めていく上では、互いの情報共有が大切になる。
- 活動の内容・活動場所についての相談や児童理解なども含め、学校の理解と協力が必要になるので、学校との協力体制を構築し、充実した活動を進めてほしい。

<活動の内容について>

- 松伏町のような「学校応援団」と「放課後子供教室」という別事業の垣根を超えた連携は、とても重要なことなので、ぜひ、他市町でも進めてほしい。
- 人材確保については、保護者・高校や大学の部活動・地域の公民館や自治会などの団体・NPO、企業等との連携が考えられる。